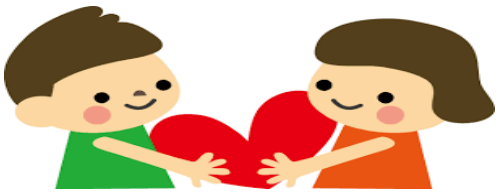
福岡市地域療育を考える会ニュース	2018 年 7 月号 （2018.7.25）	〈発行〉 福岡市地域療育を考える会事務局

～第24回総会の様子＆感想～

総会では講師に高橋康子様(一般社団法人 fourleafcompany 代表理事)をお招きして『レスパイトのできる放課後等ディサービスを目指して～障害児の親だからこそ分かり合える～』を講演して頂きました。
最近よく耳にする『レスパイト』。その意味は乳幼児や障害児・者、高齢者等を在宅でケアしている家族を癒すため一時的にケアを代替してリフレッシュしてもらうことを言います。
１人で抱えがちな悩みや問題等をご自分自身の経験を元に話して頂いて非常に有意義な時間を過ごすことが出来、勉強になりました。
療育で頑張っている日々に、支援者である立場のかたが、同じ気持ちでわかって下さる現実があることを知り、非常に励みになる講演でした。
また、ご来賓でご出席頂きました福岡市こども未来局様より、**『平成３１年４月オープンを目指して、西区に児童発達支援センターが開設される予定です！』**とありがたいご報告がありました。その他ご来賓頂きました方々にも、療育者に対して励みとなるたくさんのお言葉を頂きまして、素晴らしい総会でした！
ここからは総会に参加して頂きました皆様のご意見をご紹介させて頂きます。



★総会出席者の感想★

★自閉症について詳しく知りませんでしたが、経験を通した具体的な話で身近に感じることが出来た。障害は違えど、就労、老後について共感出来る悩みであり、実現の為に私たちも頑張ろうという気になりました。

★息子は重度の広汎性発達障害です。夜もなかなか寝ず、多動、共感する所がありました。今、薬の服用を園から勧められ、髙橋さんの後悔したことに、薬の服用種類と言われてあったので、薬が合うか自分も見極めないといけないと思った。

★子供の将来について、今は現状で出来るものばかり気を取られて深く考えていなかったので、子供が大人になった時にどんなことをしておかないといけないかを考えさせられました。

★気持ちが落ち込まれる時期を乗り越えられて、今の前向きな考え方になられたことに深く感銘を受けました。

★私も３才になるダウン症の娘が居り、髙橋さんの今までの苦労と苦悩された月々がとても身にしみてわかりました。家族みんなでのバランスが大事だとお話を聞いて感じました。

★上の子を行かせていた放デイで事業所側の不適切な行動があり、とても傷付いた事がありました。事業所選びはとても大切だと思います。最初は分からなくても、通わせているうちに〝アレ?〟と思うことは遠慮せずに事業所側へ質問していく事も大切だと思いました。

★私も今、とても育児に行き詰まって心に余裕がなく毎日キーキー言っています。先の事が見えないことがあり将来がとても不安ですが、髙橋さんのハッピーに過ごすことを考えると聞いて私もその前向きな気持ちをもって子育てをしたいと思います。

日々療育に関わる生活をしている私たちにとって、前向きになれる素敵な時間でした。
出席されたかたもアンケートのご協力本当にありがとうございました！！
レスパイトケアの充実を拡充させるために、各保健福祉事務所や児童相談所等
でも『レスパイトケア情報ハンドブック』を受け取ることができるようです！！